

平成21年度「全国学力・学習状況調査」結果（概要）

鹿児島市立紫原小学校

1 調査の概要

(1) 調査の目的

① 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること

② 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図ること

(2) 調査の実施学年・実施学級数・児童数

学 年	学 級 数	実 施 児 童 数
6年生	4 学 級	1 3 3 人

(3) 調査の内容等

① 実施教科等

国 語（A・B），算 数（A・B），質問紙調査

② 教科に関する調査

○ 「知識」に関する問題（国語A，算数A）

身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容等に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題

○ 「活用」に関する問題（国語B，算数B）

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力などにかかわる内容を中心とした出題

③ 質問紙調査

学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する内容

(4) 調査実施日

平成21年4月21日（火）

2 調査結果の概要

(1) 教科ごとの調査結果（平均正答率）

本校の児童の教科の区分別（「知識」・「活用」）の平均正答率を、全国・県・市と比較すると次のとおりである。

教 科	国 語		算 数	
	「知 識」 (A)	「活 用」 (B)	「知 識」 (A)	「活 用」 (B)
区 分				
全 国	(本校は) 上回っている	(本校は) 上回っている	(本校は) やや上回っている	(本校は) ほぼ同じである
県	(本校は) 上回っている	(本校は) 上回っている	(本校は) やや上回っている	(本校は) 上回っている
市	(本校は) やや下回っている	(本校は) ほぼ同じである	(本校は) やや下回っている	(本校は) やや下回っている

(2) 質問紙調査

① 本校児童の取組のよさ（特徴的なもの）

質問事項	本校児童の傾向(全国と比較して)
<p>○ 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたいするために、学校図書館（室）や地域の図書館へどれくらい行きますか。</p> <p>○ 読書は好きですか。</p>	<p>・ 「だいたい週に4回以上行く」・「週に1～3回程度行く」を合わせると、55.3%になる。 （全国18.2%，県41.1%）</p> <p>・ 「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」を合わせると、84.8%になる。</p> <p>※ 子どもの読書意欲の高まりや読書量の向上がみられる。</p>
<p>○ 家の人と普段(月～金曜日)夕食を一緒に食べていますか。</p> <p>○ 家の人と普段(月～金曜日)夕食を一緒に食べていますか。</p> <p>○ 家の人と学校での出来事について話をしていますか。</p>	<p>・ 「一緒に食べている」・「どちらかといえば食べている」を合わせると、65.2%になる。 （全国62.2%）</p> <p>・ 「一緒に食べている」・「どちらかといえば食べている」を合わせると、92.4%になる。 （全国89.0%）</p> <p>・ 「している」・「どちらかといえばしている」を合わせると、75.0%になる。（全国70.9%）</p> <p>※ 家族一緒になって朝食や夕食をとり、日常的に家族間のコミュニケーションがとりやすい状況にある。</p>
<p>○ 学校で好きな授業がありますか。</p>	<p>・ 「ある」と答えた子が85.6%になる。 （全国78.7%）</p> <p>※ 「どちらかといえばそう思う」まで含めると、本校は95.4%になることから、ほとんどの子が好きな教科等をもっている。</p>
<p>○ 算数の授業は好きですか。</p> <p>○ 算数の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考えていますか。</p> <p>○ 算数の授業で問題を解くときもっと簡単な方法がないか考えていますか。</p> <p>○ 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。</p>	<p>・ 「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」を合わせると、69.7%になる。</p> <p>・ 「当てはまる」と答えた子が47.7%である。 （全国41.2%）</p> <p>・ 「当てはまる」と答えた子が55.3%である。 （全国44.9%）</p> <p>・ 「当てはまる」と答えた子が49.2%である。 （全国42.8%）</p> <p>※ 算数好きの子が多く、約半数の子は基本的な教科の学び方が身に付いている。</p>

② 本校児童の課題

質問事項	本校児童の傾向(全国と比較して)
<p>○ 普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしていますか。</p>	<p>・ 「4時間以上」が28.0%，「2時間以上3時間未満」が27.3%である。全体的には、約7割の子が2時間以上の視聴をしている。</p> <p>※ 読書や家事の手伝い等に充てられないものだろうか。</p>

<p>○ 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体で約6割の子が「1時間以上」の家庭学習はできているが、約6割の子は、家庭学習が1時間に満たない。 ※ 「家庭学習60・90運動」における6年生の家庭学習時間70分の徹底を図る。
<p>○ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「している」・「どちらかといえばしている」を合わせると、47.0%である。（県53.4%、全国54.7%） ※ 日々の家庭学習に計画的に取り組ませる必要がある。
<p>○ 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「あまり関心がない」「関心がない」という子が57.6%で、全国や本県の平均より多い。 ※ 郷土教育の視点から教科や総合的な学習の時間等の指導を工夫し、地域の特性やよさを考えさせていきたい。
<p>○ 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか。</p> <p>○ 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「難しい」「どちらかといえば難しい」を合わせると約7割近い。自分の考えを話したり書いたりすることに抵抗を示す子が多い。 ・ 「どちらかといえば工夫していない」「工夫していない」を合わせると約5割近い。約半数の子が、話すときにその組み立てを意識できていない。 ※ 日常の授業において、自分の考えを整理して書く場や、自分の考えをペアやグループの学習で話し合う場を確保するなど、指導の改善が必要である。「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す」指導に力を入れる必要がある。
<p>○ 国語B-1の問題にあるような、長い文章を読むのは難しかったですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「難しい」「どちらかといえば難しい」を合わせると約5割になる。約半数の子が長文の読解に苦手意識をもっている。